

## 四街道市出身のオートバイレーサー 山中琉聖選手が四街道市長を表敬訪問 —世界選手権で着用したヘルメットを寄贈—

ロードレース世界選手権 Moto3 クラスに参戦されている、山中琉聖選手が1月25日(月)に四街道市長を表敬訪問しました。

山中選手は、令和2年11月に開催された最終戦(ポルトガルグランプリ)に使用した、四街道市の市章がデザインされたスペシャルヘルメットを四街道市に寄贈しました。

山中選手は、「四街道市で生まれ育ったことを誇りに思っているので、四街道市の市章をヘルメットにデザインしました。次世代の日本人が活躍できるよう道を作っていきたいです。」と今後の意気込みを語りました。

佐渡市長は、「四街道市を忘れずに世界で活躍されていることをとても嬉しく思います。これからも頑張ってください。」と激励しました。



(写真左から)佐渡市長、山中選手

【山中琉聖選手について】

四街道市池花出身、スペイン在住の19歳。3歳でバイクに出会い、8歳でポケバイ全日本2冠獲得。ミニバイク、ロードバイクとステップアップし、2017年に国際ライセンスを取得。2018年レッドブルルーキーズカップ第5戦で初優勝をかざり、2019年からロードレース世界選手権 Moto3クラスに参戦。

問い合わせ

四街道市経営企画部政策推進課

担当：後藤

☎ 043-421-6162